

御 嶽 山

○ 火山活動評価： 静穏な状況

12 月下旬に一時的な地震増加がありました。その他の観測データには特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過しました。

○ 概況

・ 噴煙などの表面現象の状況（図 1、図 2）

三岳黒沢（剣ヶ峰の南東約 14km に設置）の遠望カメラでは、王滝頂上付近及び地獄谷からの噴煙は観測されませんでした。

・ 地震や微動の発生状況（図 3）

12 月下旬に山頂付近の浅い所を震源とする体を感じない程度の微小な火山性地震が増加しました。最大地震は 12 月 30 日 15 時 33 分に発生したマグニチュード¹⁾ 1.3 でした。地震増加中に火山性微動は観測されず、噴気などの表面現象にも特段の異常はありませんでした。

山頂付近を震源とする地震活動は、1979 年 10 月～1980 年 1 月、1991 年 4～5 月および 1992 年 11 月にも活発化したことがあります。これらのうち、1979 年には小規模な噴火が、1991 年にはごく小規模な噴火が発生しており、火山性微動も観測されています。

上記以外では、御嶽山付近を震源とする地震は年間を通じ少ない状態で経過しました。

1) マグニチュード (M) は地震の規模を示します。資料中の M は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

・ 地殻変動の状況（図 4）

GPS 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。

○ 火山情報の発表状況

火山情報の発表はありませんでした。

※ この資料は気象庁のほか、東京大学、京都大学、名古屋大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。



図 1 御嶽山 山頂部の状況（12月25日、三岳黒沢遠望カメラによる）

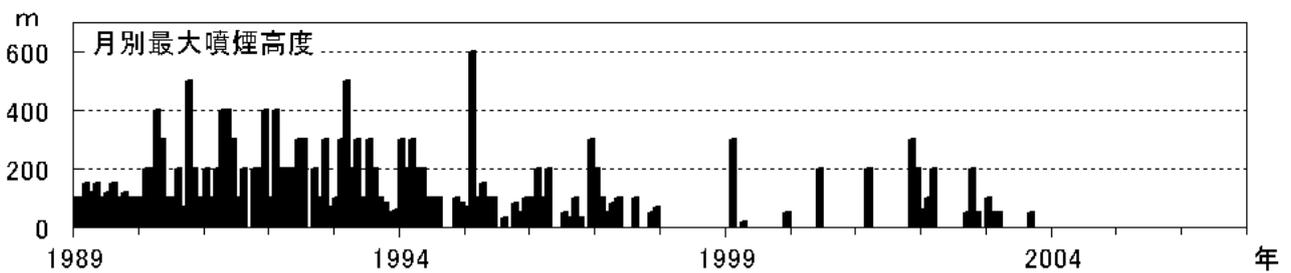


図 2 御嶽山 定時観測（09時・15時）による月別最大噴煙高度（1989年1月～2006年12月）

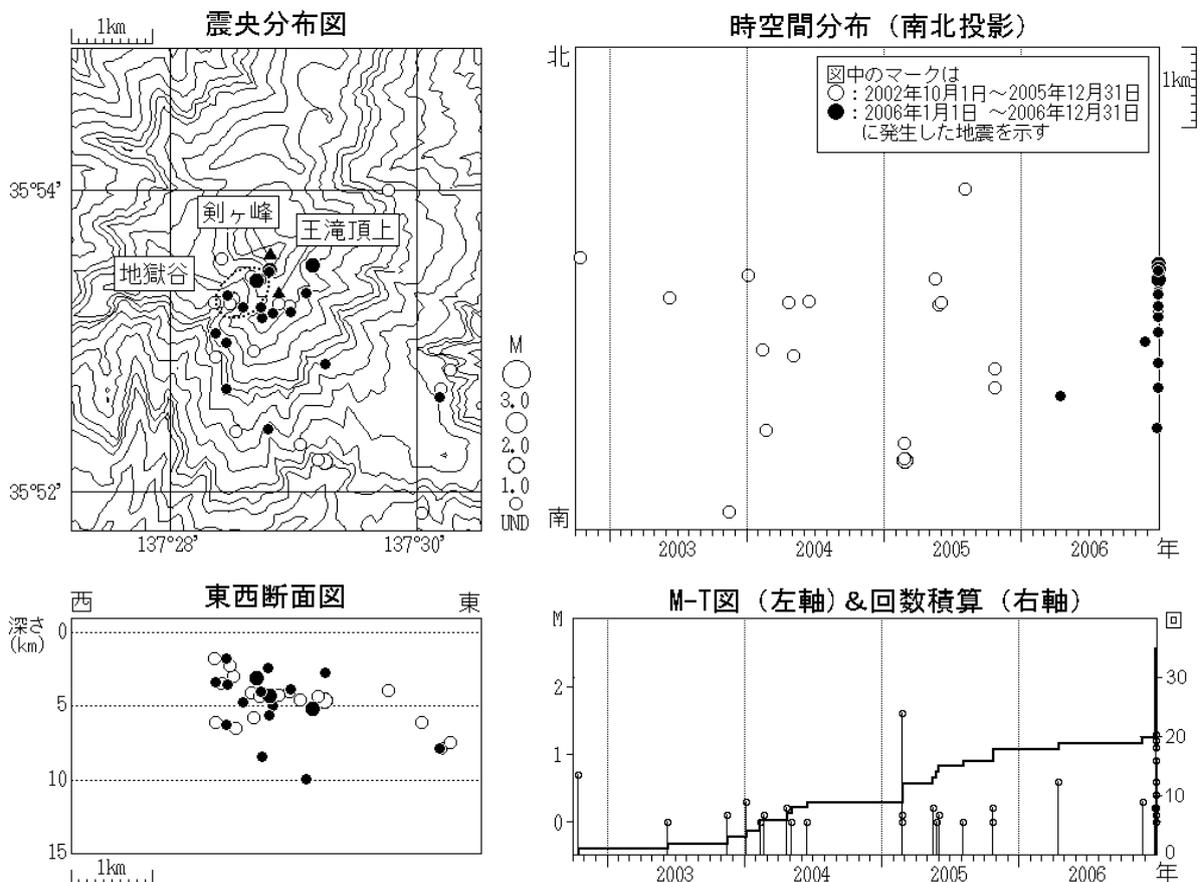


図 3※ 御嶽山 山頂付近の地震活動（2002年10月1日～2006年12月31日）

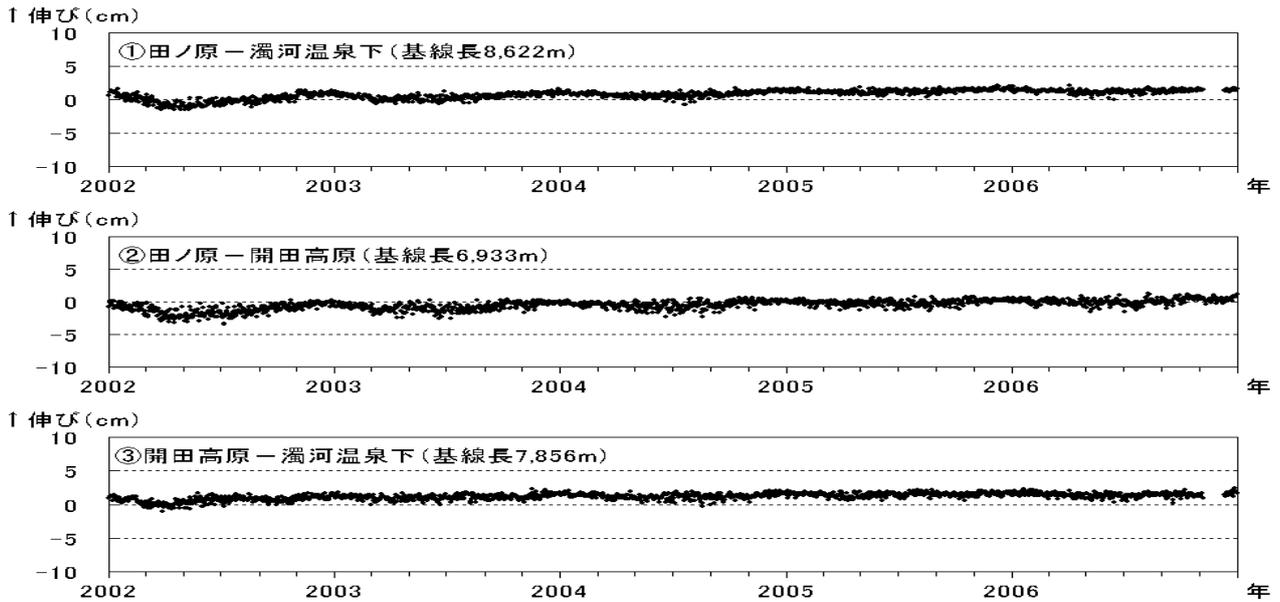


図 4 御嶽山 GPS 連続観測による基線長変化（2002 年 1 月 1 日～2006 年 12 月 31 日）
 基線長変化にみられる冬季の伸びと夏季の縮みの傾向は季節変動です。
 ①～③は図 5 の GPS 基線①～③に対応しています。

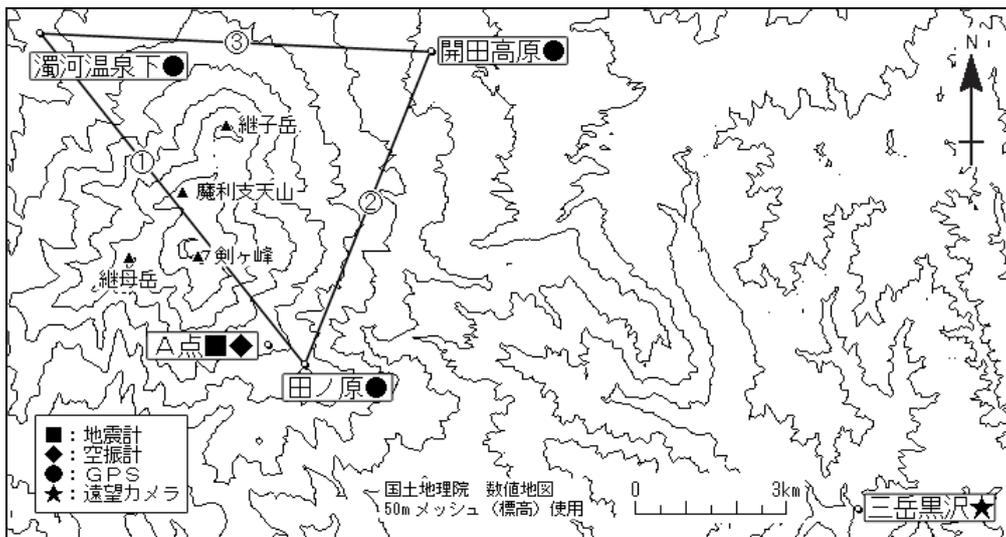


図 5 御嶽山 気象庁の観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）
 GPS 基線①～③は図 4 の①～③に対応しています。

表 1 御嶽山 気象庁の観測点一覧

測器種類	地点名	設置位置			設置高 (m)	観測開始日	備考
		緯度	経度	標高(m)			
地震計	A点	35° 52.5′	137° 29.9′	2244	0	1988.7.15	短周期 3成分
空振計	A点	35° 52.5′	137° 29.9′	2244	4	2000.11.2	
GPS	田ノ原	35° 52.2′	137° 30.4′	2190	6	2001.10.23	二周波
	開田高原	35° 55.7′	137° 32.1′	1550	4	2001.10.23	一周波
	濁河温泉下	35° 55.9′	137° 26.9′	1680	4	2001.10.23	一周波
遠望カメラ	三岳黒沢	35° 50.6′	137° 37.8′	830	10	2001.10.25	高感度